

# 学びのR

No. 4 3 (令和3年3月)  
 埼玉県教育局南部教育事務所  
<https://www.pref.saitama.lg.jp/soshiki/g2201/index.html>

「R」は「reform(改革)」の頭文字です

## \* 「カリキュラム・マネジメント」で授業改善 \*

\* 今回は、「カリキュラム・マネジメント」の視点を踏まえた、学校全体の取組から教職員一人一人が行う授業改善について考えます。



埼玉県マスコット「コバトン」

### 「カリキュラム・マネジメント」って何だろう

小学校学習指導要領 第1章 総則

第1 小学校教育の基本と教育課程の役割

4 各学校においては、児童や学校、地域の実態を適切に把握し、①教育の目的や目標の実現に必要な教育の内容等を教科等横断的な視点で組み立てていくこと、②教育課程の実施状況を評価してその改善を図っていくこと、③教育課程の実施に必要な人的又は物的な体制を確保するとともにその改善を図っていくことなどを通して、**教育課程に基づき組織的かつ計画的に各学校の教育活動の質の向上を図っていくこと**（以上「カリキュラム・マネジメント」という。）に努めるものとする。

※中学校も同様です。（※①～③、    、    については、作者注記）

つまり **教育課程を3つの側面から改善し、学校の教育活動の質の向上を図っていくこと**

3つの側面とは、

- ① **教科等横断的な視点**での組み立て ⇒ 教員が連携し、学校全体で育成する資質・能力を共有し、複数の教科等の連携を図りながら授業をつくる
- ② **PDCAサイクル**の構築 ⇒ 学校の教育活動の効果を常に検証して改善する

全教職員に「意識してほしい」  
 カリキュラム・マネジメントのPDCAサイクルの全体イメージ

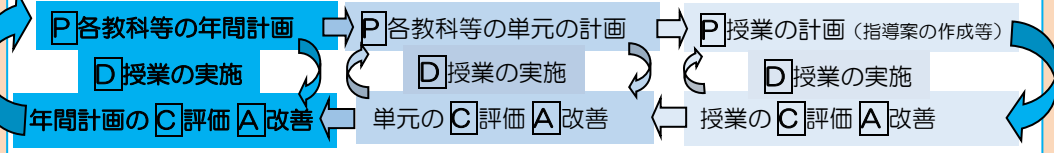
教科等経営や学級経営の視点を学校経営の視点に広げることが重要！

**P** 学校教育目標 ⇒ 教育課程の編成

**D** 教育課程の実施

先生方の一人一人の「教科等経営」や「学級経営」も学校全体のカリキュラム・マネジメントの一部ですので、このように例で示しました。

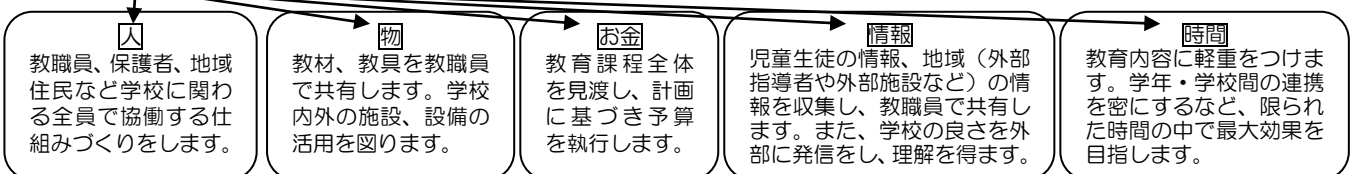
↑  
 次年度・次期の計画の作成



**A** 教育課程の見直し・改善の取組

**C** 教育課程の評価

③ **人的・物的資源**の活用 ⇒ 学校内外の教育資源を最大限活用する



## 「カリキュラム・マネジメント」のP（計画）の参考例



若手も中堅もベテランも、まず、みんなで参画意識をもち、参加することから始めましょう。

### ステップ1 児童生徒や学校、地域の実態や特色を適切に把握します

#### 学校の「子供」

誰とでも仲が良い  
休み時間に元気よく運動場で遊ぶ  
自分の考えの表現が進んでできな  
い子が多い

#### 地域の「環境」

大きな駅、高層マンション  
古くからの住宅地と新しい  
住宅地が共存している

#### 地域・家庭の「人」

学校美化、登下校の見守り  
共働き家庭が多い  
学校応援団が協力的

実態を踏まえた目標、目指す姿を考えることが重要！

### ステップ2 学校教育目標を達成するために、子供たちに身に付けさせたい力や 目指す子供の姿を考えます

#### 学校教育目標

##### 「かしこく ゆたかに たくましく」

- ・自分で考えて解決する力 ・相手の気持ちを考えて行動する力
- ・思いを言葉で伝え合うことが出来る力 ・自信をもって行動する力
- ・あいさつができる子供 ・ありがとうを言える子供 ・夢に向かって努力できる子供

全教職員で様々な角度から  
意見を出し合ったり、共有  
したりすることが重要！

「自分の思いを自信をもって伝え合える子供を育てよう！」

※発信力とコミュニケーション力の育成を重点化

### ステップ3 目指す子供の姿のため、 「3つの側面」から具体的な計画を立て、教育課程を編成します

#### 目指す子供の姿「自分の思いを自信をもって伝え合える子供を育てよう！」

- 複数の教科等との連携 → 社会科で学習した地域の伝統文化を、外国語活動において新しく来たALTに英語で伝えて、〇〇市・町のことをもっと好きになってもらおう。
- ①教科等横断的な視点！
- 学校教育の効果の検証・改善 → 教員個人では「授業改善の視点」で振り返りを行う、学校全体として、学校評価などを活用し、学校に関わる全ての人材を検証サイクルに巻き込もう。(例) 教職員、学校運営協議会、PTA、学校応援団、保護者、児童生徒、地域住民など
- ②PDCAサイクルの構築！
- 地域との連携 → 「〇〇市・町元気いっぱいプロジェクト！」として、地元の夏祭りを盛り上げるために、総合的な学習の時間を中心に自分たちもできることを考えてみよう。
- ③人、物、お金、情報、時間などをつなぐ！

## 「カリキュラム・マネジメント」を推進する上で大切にすること

カリキュラム・マネジメントを充実させることは、新たな取組を追加することではありません。また、時間をかけてたくさん授業をしたり、お金をかけてたくさん教材教具をそろえたりすればよいということでもありません。

- ・全教職員が持ち味を活かしながら力を合わせ、全教職員が「我が校の教育課程」を語る学校づくりを行います。
- ・学校の様々な業務の効率化を図り、カリキュラム・マネジメントの充実につなげます。
- ・地域社会と協働し、一緒に子供の成長を支えることを目指します。

参考 「小学校学習指導要領解説 総則編」文部科学省

「カリキュラム・マネジメント」説明資料（HPよりダウンロード）文部科学省



「学びのR」  
はこちらからも  
御覧いただけ  
ます！

